

『恋するフォーチュンクッキーとおバアちゃんのおにぎり』

仙北市長
門脇 光浩

もう20年も前のことです。盛岡市からの帰り道、偶然に御所湖から上がる花火を見たことがあります。たまたま夕食をとった食堂の駐車場からでしたが、色とりどりの閃光、遅れて届く破裂音、それに夏の夜風も心地よくて、何だか心の底にしまい込んだ物語を口にしたくなる夜でした。

すぐ隣にいたおバアちゃんに、「地元だんすか。いい花火だんすな」と話しかけてみました。顔中しわだらけのおバアちゃんは、「ニコニコと「雲石から」と答えてくれました。しばらくして帰ろうとしたとき、おバアちゃんが「あんたア、秋田の人？」と小さな声で聞いてきました。「んだんす」と答えると、「昔、生保内の人からおにぎりもらって、それ食べようとしたら中から手紙が出てきてな」。思いがけない告白でした。昔から仙岩峠を越えて往来があったことを知っていたので、「その手紙、彼氏らのラブレターだんすべ」と聞き返しましたが、破裂音で聞こえなかったのか、答えはありませんでした。

同様の話を伝えていました。両市長ともに快諾でした。谷藤市長は「東日本大震災の教訓もあってタイムリーですね。それに岩手県民は水の冷たい三陸を敬遠して、日本海側に泳ぎに行くんですよ。途中の角館や田沢湖は、盛岡市民にとっては絶好のドライブコースです」と励ましてくれました。トンネルの全面改修は、秋田と岩手の交流を確実に加速します。

ところで皆さんは、フォーチュンクッキーをご存知でしょうか。フォーチュンクッキーは、日本からアメリカに伝わったお菓子で、クッキーの中におみくじやメッセージが入っています。AKB48の新曲「恋するフォーチュンクッキー」は、恋の行方をフォーチュンクッキーで占う歌で、日本でもお菓子屋さんに問い合わせが殺到しているとか。

クッキーとおにぎりの違いがあってもこの歌を聴くと、20年前に花火大会で出会ったおバアちゃんを思い出します。もう天寿を全うされたかも知れません。おバアちゃんの生涯が、「人生捨てたもんじゃないわよ(恋するフォーチュンクッキーの歌詞より)」だったことを、信じています。

介護保険事務所
からのお知らせ

介護保険
出前講座のご案内

【出前講座ってなに?】

平成12年4月に介護保険制度がスタートして今年で14年目になります。要介護認定者数は年々増加しており、少子高齢社会が進展していく中、介護保険制度はますますその重要性が高まっています。

介護保険事務所では、「介護保険」についてより知っていただくとともに、皆さんから生の声を聞かせていただく場として、職員が直接出向いてお話をする「介護保険 出前講座」を行っています。

【講座の内容】

例えば「介護保険料について」「要介護認定について」「介護保険のサービスの種類や利用のしかたについて」など、介護保険のしくみ全般について

【対象】

仙北市に在住、在職の方で10人以上受講できるグループ・団体・企業です。10人以上受講できるのであれば、個人での申し込みもできます。

※町内会や老人クラブなど、地域

の会合にも伺いますのでお気軽に申し込みください。また、企業の社員研修の場などにもぜひご活用ください。

【開催時間】

講座の時間は90分程度です。

【開催場所】

受講するグループ・団体等で会場をご用意ください。

【申込方法】

開催希望日の2週間前までに、介護保険事務所に電話でお申し込みください。

※詳しくは介護保険事務所までお問い合わせください。

※大曲仙北広域市町村圏組合では、ホームページ「OS介護ネット」を通じて、仙北市の介護保険に関する情報を公開しています。

ホームページ「OS介護ネット」
(<http://www.osaiganet.or.jp/>)

【問合せ】 介護保険事務所 広報啓発担当

☎0187(86)3910



第29回 国民文化祭・あきた2014
仙北市主催事業紹介②

秋田の文学について知ろう

～秋の小京都とともに文学を語ろう～

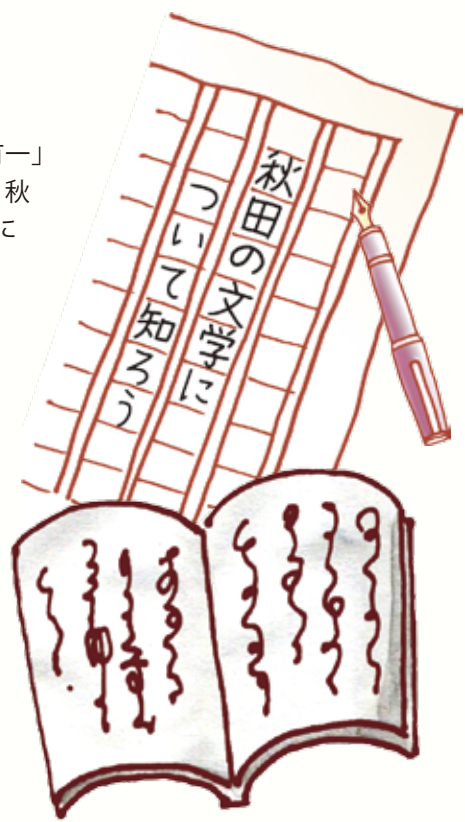
芥川賞作家で仙北市新潮社記念文学館の名誉館長である「高井有一」や直木賞作家で仙北市出身の「千葉治平」「西木正明」を始めとし、秋田県出身作家やゆかりの作家の顕彰および紹介と秋田の児童文学等に関する企画展示を開催します。

また、著名作家による講演会とともに、小・中学生を対象とした調べ学習コンクールを開催し、秋田の文学の魅力を全国に紹介します。

【日時】 展示／平成26年10月4日(土)～11月3日(月・祝)
講演等／平成26年10月26日(日) 10:00～16:00
文学講座／調整中

【会場】 展示／新潮社記念文学館・学習資料館
講演等／角館交流センター
文学講座／総合情報センター

【問合せ】 第29回国民文化祭仙北市実行委員会
(教育委員会国民文化祭推進室内) ☎43-3315



かくのだてフィルムコミッション

ロケーション
だより

Kakunodate Film Commission

7月11日(木)、平成25年度かくのだてフィルムコミッション定期総会で事業計画・予算が承認され、今年度の活動がスタートしました。

前年度はフィルムコミッション設立10周年に当たり、「広報せんぼく」で10年の歩みを振り返る特集ページを編成し、ささやかな記念祝賀会を開くなど記憶と記録に残る事業年度でありました。

今年度の事業計画では、「ネットワークの形成」を第一に掲げました。東日本大震災の影響が、東北エリアのロケ誘致に少なからずあります。県内フィルムコミッションの連携をこれまで以上に強化し、撮影活動の誘致・促進も積極的に展開を図り、ロケ誘致を震

災前と同じか、それ以上にしたいと思っています。

かくのだてフィルムコミッションホームページ上のロケ候補地情報も新たに作成し、情報発信の提供に努めたいと思っています。ロケ候補地についてのシナリオ募集をして、ホームページ上に掲載するのも面白いですね。市民の皆様からもユニークなアイデアをいただき、映像製作関係者に提案をしておきます。我こそはと思う方は、事務局へご一報いただければ幸いです。

